

地域問題特論IX

担当者 初谷 勇

開講時期 前期 単 位 1

「公共的空間と地域政策」

●講義の概要

- ・公共的空間の創出・利活用に関する理論や実務の系譜について講義する。
- ・公共的空間の創出・利活用に関する地域政策の類型や構成要素、その政策過程、政策効果等について検討する。
- ・公共的空間の創出・利活用に関する地域政策の具体的事例を取り上げ、論点を掘り下げる。

●講義の到達目標

本講義では、「公共的空間」の創出・利活用に関する理論や実務の系譜について学び、それらに関する地域政策について検討することにより、今後の地域社会における公共的空間のあり方を考察する契機とする。

●講義計画

- 第1回 公共的空間の創出・利活用に関する理論と実務の系譜 (1) 1960～1980年代
 - 第2回 公共的空間の創出・利活用に関する理論と実務の系譜 (2) 1990～2000年代
 - 第3回 公共的空間の創出・利活用に関する理論と実務の系譜 (3) 2010年代以降
 - 第4回 公共的空間の創出・利活用に関する地域政策 (1) 事例研究
 - 第5回 公共的空間の創出・利活用に関する地域政策 (2) 論点の検討・考察
 - 第6回 公共的空間の創出・利活用に関する地域政策 (3-1) 事例見学
①見学
 - 第7回 公共的空間の創出・利活用に関する地域政策 (3-2) 事例見学
②ディスカッション
 - 第8回 公共的空間の創出・利活用の課題と可能性
- ・開講日は原則として前期の土曜日3時限とする。
 - ・第6・7回は3・4時限に連続して開講することがある。
 - ・具体的な講義日程は、後期の当初に決定し告知する。

●成績評価基準と方法

[評価基準]

- (1) 公共的空間の創出・利活用に関する理論や実務の系譜、それらに関する地域政策について基本的な知識を習得し、説明することができるか。
- (2) 先駆的事例から見出される論点について、専門的な観点から検討・考察し、質疑や意見発表を行うことができるか。
- (3) 公共的空間の創出・利活用に関する地域政策に関して、具体的施策・事業の提言を含むレポートとして論述することができるか。

[評価方法]

- ①授業への参画度(質疑、意見発表など): 30% (30点)、②期末レポート(論題は講義内容を踏まえ、追って指示する): 70% (70点) により総合的に評価する。

●テキスト又は参考文献

[テキスト]

- ・ISBN: 978-4761528775 『パブリックスペース活用辞典: 図解 公共空間を使いこなすための制度とルール』、泉山墨威、宋俊煥、大藪善久、矢野拓洋、林匡宏編著、学芸出版社、2023年、2,970円。

[参考文献]

- ・ISBN: 978-4622077800 『サードプレイス: コミュニティの核になる「とびきり居心地よい場所」』、レイ・オルデンバーグ著、忠平美幸訳、みすず書房、2013年、4,620円。
- ・ISBN: 978-4306046009 『人間の街: 公共空間のデザイン』、ヤン・ゲール著、北原理雄訳、鹿島出版会、2014年、3,520円。
- ・ISBN: 978-4761527099 『プレイスメイキング: アクティビティ・ファーストの都市デザイン』、園田聡、学芸出版社、2019年、2,420円。
- ・ISBN: 978-4306073548 『パブリックスペース: 公共空間のデザインとマネジメント』、マシュー・カーモナ、クラウディオ・デ・マガリャエス、レオ・ハモンド著、北原理雄訳、鹿島出版会、2020年、4,180円。

[その他]

- ・各回のテーマに応じて、資料等を配付する。

●受講上の留意点

- ・指示した文献・資料を事前に読み、予習すること。
- ・授業では、講義に対する質疑やディスカッションにおける意見発表等に積極的に参加すること。